

# ボラセン

## 通信

ボランティア活動や防犯情報など、さまざまな活動が盛り込まれています。

### 未来への安心・安全に向けて

学校と地域で取り組む防災

宮城県教育委員会は、東日本大震災の記憶が薄れることなく後世に伝わる仕組みをつくるとともに、自然災害に対する危機意識を高め、防災教育に関する人材の基盤整備を図るため、防災主任を置くことを制度化しました。防災主任は防災マニュアルの作成や児童生徒・教員への防災学習の強化の他、地域の方たちと連携するための窓口でもあります。現在の取り組みについて、防災主任のまとも役を担っている防災担当主幹教諭である仙台市立長町中学校の養輪文彦先生にお話を伺いました。

### 自己共に大切にしたい

現在、宮城県では児童生徒の発達段階や学校の立地条件、周辺を取り巻く環境など、それぞれの学校に応じ、防災教育、安全管理を進めています。「長町中学校では、自らの安全を自分の力で確保することを基本に、地域の人々と関わり、他の人や地域のために行動できる力の育成にも努めています。自他を大切に育むとともに、災害に関する正しい知識や対処法を習得し、実践的な防災能力を高めていきたいと考えています。」と養輪先生。

防災のネットワークづくり  
同校では、昨年の10月に「地域と共に！長町中防災訓練」を実施。災害伝言ダイヤルや救急救命、仮設トイレの設置訓練などを行いました。また学校外へ出て、高層住宅への水の搬入や、民生委員と一緒に高齢者などの家庭を訪問し安否確認をするなど、地域の方たちと協力しながら防災訓練を行いました。「防災教育は地域ぐるみで取り組んでいくことが必要です。地域の中にいる多くの人たち、社協や民生委員・児童委員、地区の自治会やボランティア団体などがタッグを組み、ネットワークをつくっていくことが、より重要なのではないでしょうか。」と養輪先生は話されていました。

### ふだんの暮らしを

子どもたちも含め、私たちが安心して暮らすためには、自分たちの暮らしの地域を知ること、近隣住民の方と普段から「顔の見える関係づくり」をすることが大切です。防災教育を切り口に、まちづくりに取り組みことは、社協の使命でもある普段の暮らしの幸せを考える「地域福祉」につながると思われまふ。



▲非常時の速やかな対応のため防災訓練を積み重ねます

# キラリ☆仕事人

取得した資格は何ですか？  
介護福祉士です。

今のお仕事をされて何年目ですか？  
介護福祉士になって10年目です。職場では後輩への指導などの業務も行っていきます。

このお仕事を手をされているのが、当施設では日常生活に支障のある高齢者を9・12人のユニットで介護しています。私たちは入浴・食事・排泄・移動などの身体的な介護や精神面での支援を行っています。そのほかにも施設では、理学療法士の指導によるリハビリやボランティアさんたちとの交流も図っています。

この資格を目指したきっかけや動機を教えてください。  
人と関わるのが好きなので、介護の仕事に魅力を感じました。高校卒業後に専門学校へ進学し、資格を取得しました。

やりがいを感じる瞬間は？  
これまで立ち上がることができなかった利用者さんが、立位を保てるようになったり、食事の介助が必要だった方が、一人で食べられるようになったとき



介護老人保健施設ジュールクラブ（大崎市）で働く小野寺大さんを紹介しています。

心身の機能に向上がみられたときにはうれしくなりますね。  
大変だと感じる瞬間は、お部屋は個室になっていますが、施設での生活は集団生活です。皆さんに気持ちよく生活していただくために、利用者さん同士の間関係にこれまで踏み込んで関わることが、苦慮することがあります。

心がけていることは？  
仕事をされる際の心構えとしては、日々、何ごとも楽しむこと、そしてプラス思考で考えることを心がけています。また、利用者さんに関わる際には、常にその方の自尊心を傷つけないように関わること念頭に置いています。

これから同じ資格を目指す方に一言！  
介護の仕事は人を相手にする、やりがいのある仕事です。自分自身も一生の仕事になると思っています。若い方だけでなく、福祉に関心のある方に、ぜひ目指してほしいです。

# 相談 Q&A

## 生活福祉資金（緊急小口資金特例）貸付制度

東日本大震災により被災された世帯に対して、被災された世帯の生活の安定と世帯の復興を図ることを目的に当面必要な資金の貸付け「緊急小口資金特例貸付」（最大20万円）を実施しました。今回は「緊急小口資金特例貸付」について、お問い合わせがあった事例を紹介いたします。

このコーナーでは、宮城県社会福祉協議会がお受けするさまざまな相談を取り上げ、Q&Aで紹介いたします。

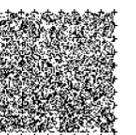
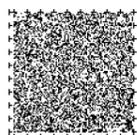


Q4. 今後の返済について相談したいのですが。  
A4. お住まいの市町村社会福祉協議会または宮城県社会福祉協議会へご相談ください。

Q5. 住所が変わっていて、何の連絡、通知も届いていませんが、自分が借入れたことについての詳細を確認したいのですが。  
A5. 宮城県社会福祉協議会へお問い合わせください。

Q6. 緊急小口資金特例貸付はまだ行っていますか。  
A6. 平成23年5月10日をもって終了しています。

問い合わせ先  
生活支援課生活資金管理係  
☎022-2216-5100



信頼と和で築く確かな未来



株式会社

# 阿部和工務店

代表取締役会長 阿部 和 央  
代表取締役社長 船 山 克 也

古民家再生、神社・寺院建築も承ります

仙台市青葉区上杉一丁目17番18号銅谷ビル  
TEL 022-264-0411 FAX 022-225-5244  
http://www.abekazu.co.jp